

濱(鳴門) P O 制し初 V

最終成績(9位タイまで)

- ① 濱 裕生(鳴門)+6 150(73.77=36.41)
 - ② 藤原 和樹(レオマ) 150(79.71=36.35)
 - ③ 吉井 撰介(阿南)+7 151(78.73=36.37)
 - ④ 谷一 浩史(阿南)+9 153(81.72=38.34)
 - ⑤ 柳田 英記(御所)+10 154(80.74=36.38)
 - ⑥ 稲岡 拓郎(月の宮)+11 155(80.75=38.37)
 - ⑦ 田村 真一(西徳島) 155(79.76=37.39)
 - ⑧ 武田 紘汰(月の宮)+12 156(84.72=36.36)
 - ⑨ 芦谷 健太(阿南)+14 158(80.78=39.39)
 - ⑩ 尾崎 竜二(阿南) 158(78.80=40.40)
- (西徳島はタカガワ西)

ゴルフ
男子アマチュア選手権
ゴルフの第46回徳島県アマチュア選手権最終日、阿南市の阿南カントリークラブ(6596坪、バーナ)に137人が参加して行われた。優勝争いは初日首位の生光学園高2年、濱(鳴門)と、同5位の愛媛・川之北中3年の藤原和樹(レオマ)が2日間通算6オパーの150で並び、プレーオフの結果、濱が初優勝を挙げた。濱は1時間近くプレーが中断される中、2位に5打差の1オパーでスタートした濱は、前半

2位藤原(レオマ) 3位吉井(阿南)

のアウトをインパーで折り返した。後半は1バーディー、4ボギー、1ダブルボギーの11スコアを伸ばして6打差を追い上げた藤原に並び、2人よりプレーオフは、1ホール目の10番はいずれもバー、2ホール目の18番でセカンドをクリン左奥にオパし、濱はバーディーを奪って勝負を決めた。初日2位の吉井撰介は、阿南は7日、通算151で3位に入った。四国アマチュア選手権(6月31日〜7月6日、香川県坂出CC)の出場



プレーオフを制し初優勝に笑顔を見せる濱
＝阿南カントリークラブ(岡野将大撮影)

最後に意地のバーディー

濱

ジュニア選手向上士によるプレーオフは、6打差を追い付かれた濱(鳴門)が最後に意地を見せた。2ホール目となった18番ロング。グリーンエッジから1尺に寄せてバーディーパットを沈める。右足を振りしめた。意地のバーディーを手にし「ほったしたというのが桑田(濱の父)とにはなかった」と話す。

鳴門一中を経て、現在は生光学園高の中心選手に成長。ゴルフ好きの日々を送る16歳は、プレーンチャーのかかった場面で力を出せなかった。今日で優勝を争う気持ちで練習すると決意をこらした。

(須見千次郎)



2位に入った14歳の藤原(岡野将大撮影)

14歳新鋭 大健闘
目を痛めたボギーをたたき返した口調で熱戦を振り切った。

位を捉えた藤原(レオマ)は、プレーオフのバーディーをたたき返した。結果は、2オパーで迎えたアウト8番ミドルで第1打をこぼす。15番にねじ込んだ。インパーで折り返すと、バーディーを取った16番を終えた時点で、濱(鳴門)を1打抑えてトップに立った。優勝には一歩及ばなかったとはいえ、百戦錬磨のベテラン勢にも見せた14歳の新鋭は、日本アマに出場できるやうに頑張りたい」と気持ちを切り替えていた。

2オパーで迎えたアウト8番ミドルでは第1打をこぼす。15番にねじ込んだ。インパーで折り返すと、バーディーを取った16番を終えた時点で、濱(鳴門)を1打抑えてトップに立った。優勝には一歩及ばなかったとはいえ、百戦錬磨のベテラン勢にも見せた14歳の新鋭は、日本アマに出場できるやうに頑張りたい」と気持ちを切り替えていた。